The Lepidopterological Society of Japan

屋久島で採集した蝶類2種

田 村 平八郎[1)]

同志社大学生物同好会の一員として1966年7月に屋久島に遠征採集をしましたが，その際にえられた蝶の中で注目すべき2種について報告します。

1. シロオビアゲハ *Papilio polytes polycles* FRUHSTORFER 1♂，栗生（学校の校庭付近），1966年7月28日，多田昌永君採集。上記1♂を採集後同場所において別の一員がさらに1頭を網に入れてから，取逃しております。
2. タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus kawaii* MATSUMURA 1♂，尾ノ間（海岸近く），1966年7月31日，田村平八郎採集。

なおメスアカムラサキ，リュウキュウムラサキは多数発生しており，採集もしました。末筆ながら御教示を頂いた若林守男氏に深謝します。

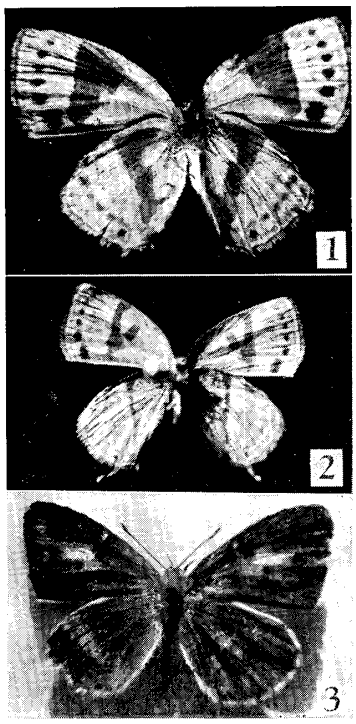
シジミチョウ科2種の異常型

外 山 雅 寛[2)]

Aberrant forms of *Antigius attilia* and *Taraka hamada* from Hokkaido, Japan.

By MASAHIRO TOYAMA

ミズイロオナガシジミ（*Antigius attilia* BREMER）[3)]はその裏面の斑紋が変化に富むことは広く知られているが，1964年に本種の著しい黒化異常型とゴイシシジミ（*Taraka hamada* DRUCE）[4)]の異常型を北海道札幌郡広島村で採集したので報告したい。



I．ミズイロオナガシジミ異常型♂（Fig. 1 & 2）

Fig. 1に示した個体は裏面の著しく黒化した異常型である。すなわち正常型では前翅外縁部に2列の暗褐色の点紋が並んでいるが，この個体では内側の不明瞭な点紋列がほとんど消失している（Fig. 2の個体についても同様）。また前翅の中室外側を走る横帯は内側に拡がり，中室端の短条と連絡し，前翅の中央部が広い黒色帯でうづめつくされる。後翅裏面も同じく翅の中央を走る黒帯は基部に向って拡がる。Fig. 2に示した個体は黒化型と正常型の中間のもので，前翅の横帯と中室短条が連絡しそうになっているが，後翅の横帯は極めて細い。広島村産の本種の標本を多数観察してみると，異常型とはいかないまでも翅紋の変化は極めて多いようである。

1）京都市中京区油小路四条上ル

2）北海道札幌郡広島村字共栄69 広島村立東部中学校

3）この種は当広島村では少ない種と思っていたが，近年新しい産地が発見され，局部的ながらかなり生息していることが分った。

4）ゴイシシジミは北海道では少ない種類であるが，当広島村では多く，1日に30頭の採集記録がある。しかしその分布は極めて局部的である。村内いたる所にササが自生し，それにタケノアブラムシが多数ついており，ときにはその白蠟質でササヤブ一帯とその地面が真白くなることさえあり，ゴイシシジミのよい生息地となっている。ここに北海道における新多産地として報告する。

NII-Electronic Library Service

The Lepidopterological Society of Japan

Ⅱ. ゴイシシジミ異常型♂ (Fig. 3)

当地での採集経験はすでに5年になるが，Fig. 3に示したように前翅に白斑をあらわした個体はこれで2度目である。札幌郡広島村で1964年7月23日に外山採集。

島根県浜田市における迷蝶2種の記録

大村 誠[1)]

浜田市にある三階山は市街地の西部の海岸より約1粁内陸部にあって標高378 mの独立した小山である。麓から頂上までブナ科とマツが混在して生えており，頂上附近ではブナ科の植物が優占種となっている。頂上には，神社がありその敷地内には樹木はなく，周囲にはマツが生えている。この空地附近でこれまでに2種の迷蝶が採集されているのでその記録を公表しておきたい。

1. ウスコモンアサギマダラ *Tirumala limniace* CRAMER

1♂，浜田市三階山，1965年7月10日，大村誠採および蔵。

本州では，和歌山県白浜（1957年4月2♂♂）での採集例があるのみで本州では2番目の発見で，また中国地方では最初の記録であると思われる。採集後生きたまま県農事試験場の藤村俊彦氏に届けて採集の事実を確認して頂いた。

2. メスアカムラサキ *Hypolimnas misippus* LINNAEUS

2♂♂，浜田市三階山，1964年9月，出原秀夫採および蔵。

同年にメスアカムラサキ♂を約10頭採集（いずれも三階山）したが，現在は手元にない。

1♂，浜田市三階山，1965年8月12日，浜田市立第2中学校生物クラブ員採，同クラブ蔵。

1♂，浜田市周布牧場跡，1965年9月5日，大村誠採，藤村俊彦蔵。

1♂，浜田市三階山，1965年9月19日，大村誠採，および蔵。

1♂，浜田市三階山，1966年9月1日，大村誠採，白水隆蔵。

1♂，浜田市三階山，1966年9月4日，大村誠，採集後不注意のため逃がした。

1♂，浜田市長沢町県農試分場，1966年9月7日，町田明哲，分場内で同一日に3回目撃，採集は出来なかった。

以上がこれまでの記録であるが，三階山での記録が大半を占めている。しかし，浜田市は暖流などの関係で比較的温和な気候で，今後も市内各地で発見される可能性がある。

1) 島根県浜田市天満町2丁内

アオタテハモドキ大阪市内で採集

高橋邦明[2)]

First record of *Precis orithya* LINNAEUS from Osaka

By KUNIAKI TAKAHASHI

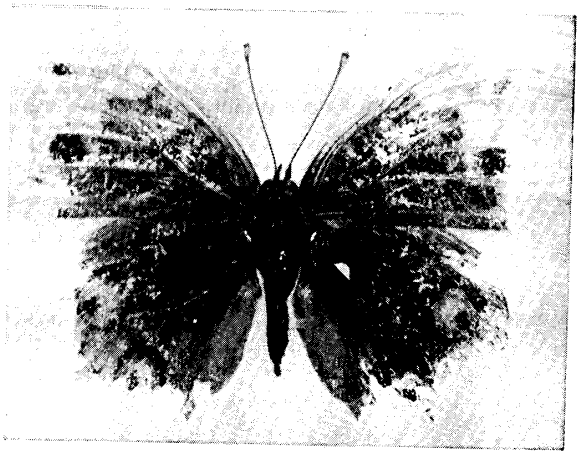
アオタテハモドキは過去，大阪では採集されたことはないようであるが，筆者は偶然，花に止まっている本種を採集することができたので，ここに報告する。

採集地 大阪市旭区城北公園付近の淀川堤防

採集日 1965年8月25日午後5時

性 別 ♀ 採集者 筆者

なお，本種を同定し，写真の撮影をして下さった若林守男氏に感謝します。



大阪市内で採集されたアオタテハモドキ

2) 大阪市旭区新森小路北 1—54

NII-Electronic Library Service